

年 組 (番) 名前

記入日 月 日

顔

2021年本屋大賞を受賞した

町田そのこさん 41



撮影・守谷遼平

福岡県在住。2016年、「カメルーンの青い魚」で文学賞を初受賞。翌年デビュー。

「海に放流した小魚が、何十倍にも膨れあがり、クジラになって戻ってきたような気分です」。予想もしなかった受賞だという。

題名の「52ヘルツのクジラたち」のクジラとは、他のクジラが聞き取れない高い周波数で鳴き、「世界で最も孤独」とされる個体のこと。作中には、世の中で虐げられている孤独な人々のか細い声も流れる。

デビュー作「夜空に泳ぐチョコレートグラミー」以来、弱さを抱えながらも懸命に生きる人たちに寄り添う作品をつづってきた。原点には、いじめを受けた小学生時代のつらい記憶がある。救ってくれたのは、力強く生きる女性の姿

を描いた氷室冴子の小説。「明日も頑張ろうって背中を押してもらった。作家になって対談するのが夢だった」

だがその夢は、高校卒業後、理容店、菓子店などで働き、生活に追われる間にしぼんでいく。転機は2008年。「氷室さんが亡くなり、いつしか夢を諦めてふらふらしていた自分が許せなくて」筆を執った。育児の傍ら執筆を続け、作家への道を開いた。

「おばあちゃんになるまで書き続けたいんです。私は本を読むことで救われ、文章を書くことで生かされた。今度は人を救う側になりたい」(文化部 池田創)

(2021年4月15日 読売新聞朝刊より)

1 町田さんの職業を記事から抜き出しましょう。

2 「52ヘルツのクジラ」とはどのような人の象徴だと考えられますか。最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 他の人に声が届かず、孤独を抱えている人
 ② 他の人と違う能力があり、他の人を見下している人
 ③ 他の人と違う能力があり、リーダーとして活躍する人
 ④ 他の人より声が高く、すぐれた歌手として成功した人

3 記事は、町田さんの「過去に関する部分」、「現在に関する部分」、「未来に関する部分」の3部分から構成されています。書かれている内容をよく読み、過去、現在、未来のそれぞれの話が始まる段落の最初の3文字を書きましょう(記号も1文字に数えます)。

過去：

現在：

未来：